

すまい・まちづくりシンポジウム2021

ニューレジリエンス時代の すまい・まちづくりを考える

～災害に強いすまい・まちづくりをどう考えるか～

趣 旨

新型コロナ危機や自然災害等、様々な環境変化を受け入れ、暮らしや住まいを回復させながらも、新たな視点で「すまい・まちづくり」を考える事が必要になってきています。

この環境変化を柔軟に捉えて対応し、新しい価値をつくっていくことが求められるニューレジリエンス時代を見据え、これからのすまい・まちづくりを皆様と一緒に考えるシンポジウムをWEBセミナーにて開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

*レジリエンスとは、「回復力」「弾性」と訳されます。今回、新しいすまい・まちづくりとして、様々な変化に対応し、回復しながらも高みを目指し前進することを「**ニューレジリエンス**」と表現しています。



開催日時

2021年12月15日（水） 13:00～15:00
（10分前よりアクセス受付開始）

開催方法

WEBセミナー

お申し込み

定員 500名【参加費無料】 どなたでもご参加いただけます。

こちらからもアクセスできます



以下のURLからお申し込み下さい。

<https://www.purekyo-yoyaku.com/>

申し込み後に「予約完了」メールがご指定のメールアドレスに送信されます。
また、事前に当日の参加方法のご案内メールをお送りいたしますので、
あわせてご確認ください。

申し込み締切： **12月8日（水）**

※申込先着順で定員に達し次第締め切らせていただきます。
※予約完了メールや参加方法のご案内メールが届かない場合は、**迷惑メールフォルダ**に入っている可能性もありますのでご注意ください。

主 催
協 賛
後 援
協 力

(一社)プレハブ建築協会
定期借地権推進協議会・日本型HOA推進協議会
(独法)住宅金融支援機構・(一財)住宅生産振興財団・(一財)都市農地活用支援センター
(一社)全日本土地地区画整理士会・(一社)住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会
(株)プレイスメイキング研究所・(株)TERRAデザイン



スケジュール

13:00～

開会挨拶

一般社団法人 プレハブ建築協会 専務理事

平松 幹朗

第1部 基調講演

13:05～14:05

①「コロナ禍における健康居住環境」

～カーボンニュートラルの普及に役立つ住まい方～

芝浦工業大学 建築学部長 教授

秋元 孝之氏



世界的に脱炭素社会に向けての施策が進む中、同時にコロナの蔓延がライフスタイルの変化をもたらしている。これらの状況を踏まえ、これからの居住環境の快適性と健康は、どのように変化していくのか。

②「時代が求める住宅地の変化（住宅地への期待と役割）」

～不特定多数のための画一的住宅地開発が問題を露呈している～

有限会社アーバンセクション 代表取締役 二瓶 正史氏



コロナの蔓延によるライフスタイルの変化、自然災害の甚大化がまちづくり手法のあり方を変化させる必要を示している。これらの状況を踏まえ、これからのすまい・まちづくりをどのように考えるべきか。

第2部 事例紹介・パネルディスカッション

14:10～14:55

コーディネーター

横浜市立大学 国際教養学部 教授

齊藤 広子氏



事例：藤沢サステイナブル・スマート・タウン

■「まちづくりとハザードとの共存」

“避けられない現実：自然災害との共存を考える”

パナソニックホームズ株式会社 街づくり事業開発部

上田 眞氏



■「エリアマネージメントが顔をつなぐ」

“自律共生型社会を考える”

株式会社プレイスメイキング研究所 代表取締役

温井 達也氏



■ パネルディスカッション

※ご講演タイトル等は変更の可能性があります。

15:00

閉会

お問い合わせ：（一社）プレハブ建築協会 業務第二部 シンポジウム担当 jyutaku@purekyo.or.jp

※メールの件名を「すまい・まちづくりシンポジウム問合せ」として下さい。